

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: R5年5月6日

事業所名: 児童発達支援・放課後等デイサービスGENE II 保護者等数(児童数)18名 回収数 13 割合 72%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	92%	0%	8%			新しい事業所の立ち上げにより、活動に十分なスペースを確保できている
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	92%	8%	0%			適切に配置している
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	92%	0%	8%			トイレには手すりがあり、バリアフリー化している
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	100%	0%	0%			保護者とは密に連絡を取り合い、今必要な支援についてよく話し合ったうえで計画の作成を行っている
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	100%	0%	0%			コロナ禍でプログラムが制限されていたが、今後は新しい活動も検討したい
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	23%	62%	15%		・普段学校でその機会があるので、デイでは支援の必要な子供同士の関わりが持てればよい	コロナ前にあった地域活動(こども食堂等)など今後の再開を検討したい
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	92%	8%	0%			随時行っている
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	92%	8%	0%			随時行っている
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	92%	8%	0%			無理強ひすることのないように、保護者の状況を考慮したうえで助言を行っている
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	23%	69%	8%		・特に連携はしていないが、個別に親しい方とコミュニケーションがとれている ・保護者同士の交流に興味がない	コロナ前に行っていたヨガや英会話等保護者向けイベントの再開を検討したい
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	92%	8%	0%		特にそのようなことがなかったのわからないが、適切に対応していると思う	行っている
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%	0%	0%			お迎え時や電話連絡で情報伝達を行っている
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	85%	15%	0%			プリントやホームページ、インスタを通して日々発信している
	14	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%			注意している
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	77%	23%	0%			マニュアルを作成しているが、保護者への周知・説明は今後も行っていく
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	92%	8%	0%			定期的に行っている
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	100%	0%	0%			楽しみに通っていただけるよう、今後も努力していく
	18	事業所の支援に満足しているか	100%	0%	0%			満足していただけるよう、今後も努力していく

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されている。